

第1回評価委員会での法人への追加確認事項及び回答について  
 (継続審議項目に係る確認事項)

<No.49 若手・女性研究者等の支援> (法人自己評価：評価Ⅲ)

【審議概要】

- JST (科学技術振興機構) 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」や「CREST」のチーム内の若手研究者及び女性研究者の比率によっては、評価Ⅳとしてもよいのではないかと。
- さきがけやCRESTのチーム内の若手研究者及び女性研究者の比率を確認のうえ、再度審議。

質問：さきがけやCRESTのチーム内の若手及び女性教員の比率を教えてください。

回答：

【2017年度～2021年度 大阪市立大学】

	大学全体	若手	女性
さきがけ採択者	5人	5人	1人

※女性1名は若手5名に含まれます。

【2021年度 大阪市立大学】

	大学全体	若手	女性
CREST参加	3人	1人	0人

(参考1) 関連質問：資料1-4 令和3事業年度業務実績報告書に関する各委員ご質問・ご意見事項 P.12 番号44

- ・ 質問：研究支援の成果を知りたい
- ・ 回答：
  - ・ 一つの指標としては、両大学ともに外部資金の獲得実績として非常に伸びていることが、研究活動が活発に行われていることの結果ではないかと考えています。
  - ・ JSTの戦略的創造研究推進事業\_個人型研究(さきがけ)の若手研究者の採択や、同\_チーム型研究(CREST)もチーム構成に含まれる若手研究者のさらなる活躍が期待できるものです。

(参考2)

- ※ 戦略的創造研究推進事業「さきがけ」(プログラム概要)
  - ・ 科学技術イノベーションの源泉を生み出すネットワーク型研究(個人型)  
研究総括が定めた研究領域運営方針の下、研究総括が選んだ若手研究者が、研究領域内および研究領域間で異分野の研究者ネットワークを形成しながら、若手ならではのチャレンジングな個人型研究を推進。
  - ・ 研究期間：3年6ヶ月以内 ・ 研究費：総額3000万～4000万円程度/課題
- ※ 戦略的創造研究推進事業「CREST」(プログラム概要)
  - ・ 科学技術イノベーションにつながる卓越した成果を生み出すネットワーク型研究(チーム型)  
研究総括が定めた研究領域運営方針の下、研究総括が選んだ、我が国のトップ研究者が率いる複数のベストチームが、チームに参加する若手研究者を育成しながら、研究を推進。
  - ・ 研究期間：5年6ヶ月以内 ・ 研究費：総額1.5億～5億円程度/チーム

<No.122 研究者の育成> (法人自己評価：評価Ⅳ)

【審議概要】

- フェローシップ制度における研究費支援額が手厚く、積極的に取り組んでいるといえる。
- フェローシップ制度における研究費と生活支援の割り振りの考え方を確認のうえ、再度審議。

質問：フェローシップ事業における支援の割り振りとその考え方を教えてください。

※大学フェローシップ創設事業ごとにご教示ください。

回答：

- 大阪府立大学及び大阪市立大学で実施している大学フェローシップ創設事業による支援額は、全ての事業で生活費相当額 180 万円、研究費 50 万円です。
- 一人当たり年間総額 230 万円の配分は大学で変更可能なものですが、研究費 50 万円の多寡については、積極的に海外研修なども推奨していること、渡航費や国際会議参加費、実験やフィールドワークの分野での研究費も必要であることを勘案すると（現在はコロナ禍で実施が難しい状況ですが）、必ずしも多いとは言えないと考えています。  
（参考：学振特別研究員（DC1,DC2）は、研究相当の科研費（種目：特別研究員）として 80 万円～100 万円、生活費相当額として 240 万円が支給）
- なお、次世代研究者挑戦的研究プログラムについては、生活費相当額 200 万円、研究費は 20 万円ですが、事業統括の裁量で必要に応じて事業統括予算から院生の研究費を増額することが可能です。

《大学フェローシップ創設事業一覧》

- マテリアルイノベーションを通じた国際的博士人材育成
- スマート社会を牽引する共創型 X-care 課題解決アーキテクト養成社会
- 南部・アインシュタインフェローシップ